



語学を通して世界中に“心のコミュニティ”を

2023年「Shake Hands Language School」開校



2023年、これまでにない新しいタイプの語学スクールが産声を上げる。それが「Shake Hands Language School」だ。

「Shake Hands Language School」は、(株)Kawabata Language International代表取締役川畑秀雄氏のある出来事をきっかけに生まれることになったという。

それは2022年5月のこと、海外事業のために行った成田国際空港で、外国人の男の子がカートで遊んでいて転倒、荷物が子供の太ももに直撃する場面に出くわした。それを見た、川畑氏はとっさに子どものもとに駆け寄り言葉が出ない…。

実は川畑氏は海外事業での必要性を感じ、これまで英会話を長い時間と多額に費用をかけて学んでいたという。それなのにもかかわらず、とっさの時に言葉が出なかったのである。「あんなに英会話を勉強するのに…悔しくて涙が出ました」と、川畑氏は当時のことを振り返る。そして、あることに気がついた。

「英語は自分のために学ぶのではなく、人を助けるために学ぶことだ」。それから急激に英語が理解できることが増え、いまでは日常でのコミュニケーションを取ることができるようになったという。そして、川畑氏はこの体験から語学スクールをスタートする決意をしたのである。

川畑氏の目的ははっきりしている。それは語学を通して世界中に心のコミュニケーションの場“コミュニティ”を作ることだ。

沢山の仲間と豊かな世界をつくることで、我々の心の種がどんどん広がり、みんなが輝ける場所ができる。

「Shake Hands Language School」はまさにその場なのである。「Shake Hands Language School」には、川畑氏のこれまでの失敗した経験に基づいたユニークな仕組みが随所に見受けられる。

例えば、1ID月額1,000円で、しかも個人であれば10人、三頭身まで、法人であれば、社員はもちろん、パート・アルバイトまで登録できる。一人あたり1,100円で学び放題というのもそのひとつである。これは、世界中に心のコミュニティをつくるという目的を果たすためには、世界中の言語をもっと気軽に安く学べる環境をつくるのが不可欠だと考えたからにほかならない。そのために、今回、世界で初めてユーザーが言葉を口に出す広告も導入するという。

語学をマスターするには、“場”と“環境”。特に日本人にはそれが大きなカギになるということはこれまでの日本の語学教育を見ても明らかである。「Shake Hands Language School」では、これまでのように、他言語を前にして緊張し、わからないのに愛想笑いをしてわからないまま終わる。こういった過去の苦い経験を繰り返すことはない。

世界中、どこにいながらでも、世界の語学とリアルコミュニティに参加できる「Shake Hands Language School」に注目したい。

経済界倶楽部例会報告

経済界倶楽部東京10月例会が10月11日に開催されました。

講師は、(株)ミライロ代表取締役社長の垣内俊哉さん。テーマは「バリアバリュー～障害を価値に変える～」でした。

垣内さんには、生まれながらにして持った障害があります。「骨形成不全症」。これは先天的に骨がもろく、変形しやすくなるという遺伝性の病気で、いまま車椅子の生活を余儀なくされています。その垣内さん

が語る「障害を価値に変える」。ここに至るまでには言葉に表せない様々な葛藤がありました。そして行き着いた答えが“障害とは何か？”

障害はない方がいいに決まっています。しかし、障害があることは決して不幸ではない。それは障害があったからこそできたこと、挑戦できたことがあったからにほかなりません。

このことを社会に、世界に伝えたい。この強い思いが垣内さんを起業に突き動かしました。

ミライロが手掛ける事業。例えば、自治体ごとに違う障害者手帳をアプリとして一元化して交通機関や公共施設で使用できるようにした「ミラ

イロID」や障害者に対してのコミュニケーションマナーを学び、身に付けるための「ユニバーサルマナー検定」、これらはいままで自治体や企業がなかなか手を出しにくかった分野です。それだけに、この事業は障害がある垣内さんだからできることだともいえます。

私が今回何よりも特出していると思ったのは、“社会貢献という側面から儲けにする時代”という視点に立っていることにあります。

垣内さんも講演の中で話していましたが、障害者の対応は高齢者にも当てはまります。

今後、高齢化社会が進んでいく中、

そこには膨大なマーケットが見込まれます。また、社会性や経済性を考えれば、持続性も視野に入れておかなければなりません。また、持続可能な開発目標「SDGs」に掲げられている17個の目標のうち9個は障害者に関係しているといえます。

医療や介護費用を国の予算(税金)で賄っていくには限界があります。そこに新たな価値(儲け)を生み出し分配していかなければ、いずれは破綻と言った状況になりかねません。そうならないためにも、垣内さんがいう“バリアバリュー～障害を価値に変える”。この発想が未来への道標として期待されているのです。

編集後記

多くの経営者とお会いして話していると感じるがあります。それはまるで未来が見えているか。あるいはまさにいま未来にいる状態で話をしているということです。特に成長している企業の経営者にはその傾向が顕著に表れます。そして、そのことを意識して話を聞くと、その経営者と事業のまた違った魅力が見えてきます。さらに言うならば、その未来の話と現在をつなぐのが、ファイブ・ケイ・プロの役割、使命だと思っています。来年早々に新しい語学スクールが産声を上げます。F.K.P.がその未来と今をつなぐ“手”となれば幸いです。加藤佳悟

FKP
INFO

ファイブ・ケイ・プロ激薦！！ 今後開催のイベント2選



やおよろくくらぶ講演会
経営の神様
「松下幸之助に学ぶ
人生の成功哲学」

人間教育の専門家であり、(財)松下政経塾の門下生小田全宏氏が、経営の神様松下幸之助翁から学んだ成功哲学を今だからこそ伝える。

日時：令和4年11月21日(月) 18:00～20:00

場所：弘法寺

参加費：5,000円(先着80名)

配信：2,000円(ZOOM視聴)

主催：一般社団法人

ジャパン・スピリット

協会



THE和祭2022
in浅草

日本舞踊パフォーマンスユニット、レビュージャパネスク浪漫「炎樹」。関西は神戸発信！元タカラジェンヌによる和風レビューショーが東京浅草の年末を彩る！！

日時：令和4年12月4日(日)

開場：12:00 開演：13:00

場所：浅草公会堂

チケット：S席10,000円A席6,000円B席3,000円

問合せ：和り菱会 070-2358-9482